

ネヘミヤ

1－7章、城壁の回復

8－13、人の回復

彼の身分の変化

1、奴隷 2、再建者 3、治めるもの

1 : 3 報告を聞いた時にネヘミヤに起こった3つの事

1、必要を知った

2、共感を持った（自分の事としてとらえた）

3、主の元に行った

1:3 彼らは私に答えた。「あの州で捕囚を生き残った者たちは、大きな困難と恥辱の中にあります。そのうえ、エルサレムの城壁は崩され、その門は火で焼き払われたままです。」

恥辱の中にあります=(改2) そしりを受けています

1:4 このことばを聞いたとき、私は座り込んで泣き、数日の間嘆き悲しみ、断食して天の神の前に祈った。

1:5 「ああ、天の神、【主】よ。大いなる恐るべき神よ。主を愛し、主の命令を守る者に対して、契約を守り、恵みを下さる方よ。

1:6 どうか、あなたの耳を傾け、あなたの目を開いて、このしもべの祈りを聞いてください。私は今、あなたのしもべイスラエルの子らのために、昼も夜も御前に祈り、私たちがあなたに対して犯した、イスラエルの子らの罪を告白しています。まことに、私も私の父の家も罪を犯しました。

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

告白して=waddeh=ヤダ◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美

する 19 回、告白 16 回

(NAS) (KJV) confess

@ 「私達があなたに対して犯した罪」

先祖、民族の罪を自分のものとして告白（9：2）

先祖の罪がわれわれを滅ぼしうる

（レビ 26:39 あなたがたのうちの生き残る者も、敵の地で自分の咎のために朽ち果てる。さらに先祖の咎のために朽ち果てる。

1:7 私たちはあなたに対して非常に悪いことをして、あなたのしもべモーセにお命じになった、**命令**も**掟**も**定め**も守りませんでした。

民は1日でエジプトを出たが、心からエジプトを抜くのに40年かかった

命令=◀ 4687. mitsvah ▶ 掟=◀ 2706. choq ▶ 定め=◀ 4941. mishpat ▶  
ちなみに律法は=◀ 8451. torah ▶

1:11 ああ、主よ。どうかこのしもべの祈りと、喜んであなたの名を恐れるあなたのしもべたちの祈りに耳を傾けてください。どうか今日、このしもべに幸いを見させ、**この人**の前で、あわれみを受けさせていただきますように。」そのとき、私は**王**の献酌官であった。

@この人=王

2：1 アルタシャスタ王」=エステルの関係者

(IBS) エステルの孫

(本) エステルは彼の継母（ままはは）

2:4 王は私に言った。「では、何を望んでいるのか。」私は天の神に祈ってから、

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

「天の神に祈ってから」=@短い祈りであった。しかし効果的。 (1テサ 5:17) 絶えず祈りなさい。

2:7 また私は王にこう言った。「もしも王様がよろしければ、ユダに着くまで私が通行できるように、ユーフラテス川西方の総督たちへの手紙をいただけるでしょうか。

「もし、、よろしければ、、」 もう1つ求めた

2:8 そして、宮の城門の梁を置くため、また、あの都の城壁と私が入る家のために木材をもらえるように、王家の園の管理人アサフへの手紙もお願いします。」わが神の恵みの御手が私の上にあったので、王はそれをかなえてくださった。

@宮=◀ 1002. בֵּירָה (birah) 16 回▶宮、城、宮殿=(改2) 城、(RV) 家

@この単語が主の宮として使われているのは (1歴 29:1) (1歴 29:19) (ネへ 2:8) (ネへ 7:2) のみ。

2:10 ホロン人サンバラテと、アンモン人でその部下のトビヤは、これを聞いて非常に不機嫌になった。イスラエル人の益を求める者がやって来たからである。

非常に不機嫌になった=サタンの

2:13 私は夜、谷の門を通して竜の泉の方、糞の門のところに出て行き、エルサレムの城壁を調べた。それは崩され、その門は火で焼き尽くされていた。

2:17 私は彼らに言った。「私たちが直面している困難は見てのとおりだ。エルサレムは廃墟となり、その門は火で焼き払われたままだ。さあ、エルサレムの城壁を築き直し、もうこれ以上、屈辱を受けないようにしましょう。」

2:18 そして、私に恵みを下さった私の神の御手のことと、また王が言ったことばを彼らに告げた。すると彼らは「さあ、再建に取りかかろう」と言って、この良い仕事に着手した。

2:19 ところが、ホロン人サンバラテと、アンモン人でその部下のトビヤ、およびアラブ人ゲシエムは、これを聞いて私たちに嘲り、蔑んで言った。「おまえたちのしているこのことは何だ。おまえたちは王に反逆しようとしているのか。」

落胆を与える声      ゲシエム＝雨の意味

おまえたちのしているこのことは何だ＝お前たちは高慢だ、・・・「そうだ、間違っていた、城壁を立てるべきではない」となってしまっていたらそれは

間違ったへりくだり

3:5 その傍らではテコア人たちが修復を行ったが、彼らの貴族たちはその上役に頭を下げることはなく、工事に協力しなかった。

貴族たち＝◀ 117. addir ▶ Definition: majestic、貴族、優れた、力強い

(改 2) そのすぐれた人たち

(共) 3:5 しかし、その貴族たちは彼らの指導者たちの作業に服そうとしなかった。

3:10 その傍らではハルマフの子エダヤが自分の家のそばの部分を修復し、その傍らではハシャブネヤの子ハトシュが修復を行った。

(改 4)自分の家のそばの部分 = (改 2)自分の家に面する所 (第二版のほうが正しいようだ)

そばの部分 = ◀ 5048. neged ▶ in front of, in sight of, opposite to

3:12 その傍らでは、エルサレム地区の残りの半区の長、ハ・ロヘシュの子シャルムが、自分の娘たちと一緒に修復を行った。

3:13 谷の門はハヌンと、ザノアハの住民が修復を行った。彼らはそれを建て直し、扉、錠、かんぬきを取り付け、糞の門までの城壁千キュビトを修復した。

4:1 サンバラテは私たちが城壁を築き直していることを聞くと、怒り、非常に憤慨して、ユダヤ人たちを嘲った。

4:7 サンバラテ、トビヤ、アラブ人、アンモン人、アシュドデ人たちは、エルサレムの城壁の修復がはかどり、割れ目もふさがり始めたことを聞いたとき、激しく怒り、

ふさがり始めたことを聞いたとき、激しく怒り = 勝利の寸前にアタックがある

4:9 そこで私たちは、私たちの神に祈り、彼らに備えて昼も夜も見張りを置いた。

祈り = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

4:11 私たちの敵は言った。「彼らが気づかないうちに、見つけないうちに、彼らの真ん中に入り込み、彼らを殺して、その工事をやめさせよう。」

ネへ 4:12 そのため、彼らの近くに住んでいたユダヤ人たちはやって来て、四方八方から十回も私たちに言った。「私たちのところに戻って来てください。」

近くに住んでいたユダヤ人たち=敵と住んでいたユダヤ人(世俗的なクリスチャン)の攻撃

私たちのところに戻って来てください。=この世へ戻ることの呼びかけ (BUT 正しこの訳は正しくない。)

私たちのところに=alenu (al + 我々の)

◀ 5921. al 5778回 ▶ Definition: upon, above, over

創世記 1 : 2 で「~の上(水の面の上)」と訳された言葉

@ (70人訳) 「彼らはどこからでも私たちに攻めに上ってくる」

(NKJV) From whatever place you turn, they will be upon us."

they will be upon us.=攻める

(口)(共)

@ (口) 4:12 また彼らの近くに住んでいるユダヤ人たちはきて、十度もわれわれに言った、「彼らはその住んでいるすべての所からわれわれに攻め上るでしょう」と。

@ (共) 4:6(番号ずれあり) 彼らの近くに住むユダの人々がやって来て、十度もわたしたちに、「あなたたちが戻ると、あらゆるところからわたしたちは攻められます」と言った。

@(協共) 彼らの近くに住むユダヤ人がやって来て、十度も私たちに、「あなたがたが私たちのところに戻って来ると、あらゆるところから

私たちは攻められます」と言った。

4:13 そこで私は、民をその家族ごとに、城壁のうしろの低い場所の空地に、剣や槍や弓を持たせて配置した。

4:14 私は彼らの様子を見て立ち上がり、有力者たちや代表者たち、およびその他の人たちに言った。「彼らを恐れてはならない。大いなる恐るべき主を覚え、自分たちの兄弟、息子、娘、妻、また家のために戦いなさい。」

- 1、「彼らを恐れてはならない」
- 2、主を覚え
- 3、戦いなさい

4:17 城壁を築く者たち、荷を担いで運ぶ者たちは、片手で仕事をし、片手に投げ槍を握っていた。

4:18 築く者はそれぞれ剣を腰にして築き、角笛を吹き鳴らす者は私のそばにいた。

4:20 どこでも、角笛が鳴るのを聞いたら、私たちのところに集まって来なさい。私たちの神が私たちのために戦ってくださるのだ。」

5:8 彼らに言った。「私たちは、異邦の民に売られた同胞のユダヤ人を、できる限り買い取った。それなのに、あなたがたはまた自分の同胞を売ろうとしている。彼らはまた私たちに売られなければならなくなる。」すると彼らは黙ってしまい、一言も言えなかった。

。

ネへ 5:13 私はまた、衣の裾を振って言った。「この約束を果たさない者はだれでも、神がこのように、その人の家から、また、その人の勤労の実から振り落としてくださいますように。このように振り落とされて、無一文になります

ように。」すると全会衆は、「アーメン」と言って【主】をほめたたえた。こうして民はこの約束を実行した。

ほめたたえた＝ハラル◀ 1984. halal (להלל)165回▶(源)輝く(訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

6:2 サンバラテとゲシエムは私のところに使いをよこして言った。「さあ、オノの平地のケフィリムで会見しよう。」彼らは私に危害を加えようと企んでいたのである。

ケフィリム＝◀ 3715. kephir ▶若いライオン(詩編 91:13)の複数形

6:7 また、あなたは預言者さえ立てて、ここユダには王がいると、自分についてエルサレムで宣言させようとしている。今にこのことは王に聞こえるであろう。さあ、来なさい。一緒に相談しよう。」

6:9 これらのことはみな、「彼らの工事に対する気力が落ち、工事は中止されるだろう」と考えて、私たちを脅すためであった。ああ、今、どうか私を力けてください。

6:15 こうして、城壁は五十二日かかって、エルルの月の二十五日に完成した。

6:16 私たちの敵がみなこれを聞いたとき、周囲の国々の民はみな恐れ、大いに面目を失った。この工事が私たちの神によってなされたことを知ったからである。

7:2 私は兄弟ハナニとこの城の長ハナンヤに、エルサレムを治めるように命じた。これは、ハナンヤが誠実な人であり、多くの人にまさって神を恐れていたからであった。

@城＝宮を意味◀ 1002. בִּירָה (birah) 16回▶宮、城、宮殿＝(改2) 城、



(RV) 家

@この単語が主の宮として使われているのは（1歴 29:1）（1歴 29:19）（ネへ 2:8）（ネへ 7:2）のみ。

7:25 ギブオン族、九十五人。

エズ 2:20 ギバル族、九十五人。

ギバル族=ギブオン族（ネへ 7:25）

8:6 エズラが大いなる神、【主】を ほめたたえると、民はみな両手を上げながら「アーメン、アーメン」と答え、ひざまずき、顔を地に伏せて【主】を 礼拝した。

たたえる=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回  
ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4) たたえる

原語では：主を「カダドとシャハーする顔を地につけて」

ひざまづき=カダド◀ 6915. qadad (קדד)15 回▶ おじぎする、ひざまづく  
(NAS) bowed low (KJV) bowed (INT) bowed (改 4)ひざまづき

礼拝した=シャハー◀ 7812. shachah (שחך) (172 回)▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS)worshiped (KJV) worshiped (INT) worshiped (改 4)礼拝した

8:7 ヨシュア、バニ、シェレベヤ、ヤミン、アクブ、シャベタイ、ホディヤ、マアセヤ、ケリタ、アザルヤ、エホザバデ、ハナン、ペラヤなどレビ人たちは、民に律法を 解き明かした。その間、民はその場に立っていた。

解き明かした = ◀ 995. Bin (בין) 169 回 ▶ 見分ける、悟る (形容詞的用法) さい、知恵がある

8:8 彼らが神のみおしえの書を読み、その意味を明快に示したので、民は読まれたことを理解した。

(改 4) 示す(した)、(改 2) 説明(した) = ◀ 7922. sekel 16 回(N) ▶ 洞察、理解(を与えた)

「その意味を明快に示した」というのは「解釈、解説した」という意味

(共) 8:8 彼らは神の律法の書を翻訳し、意味を明らかにしながら読み上げたので、人々はその朗読を理解した。聖書協会共同訳で翻訳が改められている。

(協共) 8:8 彼らは神の律法の書をはっきりと朗読し、また意味を明らかにしたので、人々はその朗読を理解した。

8:9 総督であるネヘミヤと、祭司であり学者であるエズラと、民に解き明かすレビ人たちは、民全体に向かって言った。「今日は、あなたがたの神、【主】にとって聖なる日である。悲しんではならない。泣いてはならない。」民が律法のことばを聞いたときに、みな泣いていたからである。

8:10 さらに、彼は彼らに言った。「行って、ごちそうを食べ、甘いぶどう酒を飲みなさい。何も用意できなかった人には食べ物を贈りなさい。今日は、私たちの主にとって聖なる日である。悲しんではならない。【主】を喜ぶことは、あなたがたの力だからだ。」(改 4)

(改 2) あなたがたの力を主が喜ばれるからだ。

(口) 主を喜ぶことはあなたがたの力です」

(共) 主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。

(NKJ) for the joy of the Lord is your strength.

9:2 イスラエルの子孫はすべての異国の人々と関係を絶ち、立ち上がって、自分たちの罪と先祖の咎を告白した。

告白した=waddu=ヤダ◀ 3034. yadah(נָדָה) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

(NAS) (KJV) confess

9:3 彼らはそれぞれ所定のところに立って、昼の四分の一は、彼らの神、【主】のみおしえの書を朗読し、次の四分の一は、彼らの神、【主】に告白をして礼拝した。

告白をして=waddim=ヤダ◀ 3034. yadah(נָדָה) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

(NAS) (KJV) confess

礼拝した=シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改 4)礼拝した

9:5 レビ人のヨシュア、カデミエル、バニ、ハシャブネヤ、シェレベヤ、ホデイヤ、シェバンヤ、ペタフヤは言った。「立ち上がって、あなたがたの神、【主】をほめたたえよ。とこしえからとこしえまで。あなたの栄光の御名はほむべきかな。すべての祝福と賛美の上に高く上げられて。

ほめたたえよ、ほむべきかな=バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4)ほめたたえる

祝福 (名詞) =バラカ(名詞) ◀ 1293.( בָּרַךְ )berakah 69 回▶ 祝福。(google)

では「あいさつ

賛美=◀ 8416. tehillah (תְּהִלָּה)57回▶ 賛美、賛美の歌

9:6 ただ、あなただけが【主】です。あなたは天と、天の天と、その万象を、地とその上のすべてのものを、海とそこにあるすべてのものを造られました。あなたはすべてのを生かしておられます。天の万象はあなたを伏し拝んでいます。

伏し拝んで=シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) bows down (KJV) worshippeth (INT) heavenly bows (改4)伏し拝んで

11:2 民は、自分から進んでエルサレムに住もうとする人々をみな祝福した。祝福する=バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改4)。

11:17 また、ミカの子マタンヤ。ミカはアサフの子のザブディの子である。マタンヤは祈りの時に感謝の歌を歌い始める指導者、バクブクヤはその同族の副指導者であった。また、シャムアの子アブダ。シャムアはエドトンの子のガラルの子である。

感謝する=yehowdeh=ヤダ◀ 3034. yadah (יָדָה) 114回▶ 感謝する 67回、賛美する 19回、告白 16回

(NAS) (KJV): thanksgiving

12:24 レビ人のかしらたちは、ハシャブヤ、シェレベヤ、およびカデミエルの子ヨシュアであり、その兄弟たちが彼らの向かい側に立って、組と組が相応じて、神の人ダビデの命令に基づき、 賛美をして 感謝をささげた。

賛美＝ ハラル◀ 1984. halal (הלל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

感謝する=howdowt=ヤダ◀ 3034. yadah(נתן) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

(NAS) (KJV): give thanks

ネへ 12:27 エルサレムの城壁の**奉献式**に際して、彼らはあらゆる場所からレビ人を捜し出してエルサレムに連れて来た。シンバルと**琴**と豎琴に合わせて**感謝の歌**を歌い、**喜び**をもって**奉献式**を行うためであった。

@奉献式＝◀ 2598. chanukkah (חנוכה)8 回▶

琴＝ ◀ 5035. nebel 38 回▶皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

(改2)で十弦の琴と訳したが間違い

感謝の歌＝トダ◀ 8426. todah (תודה) 32 回 ▶意味は「感謝する(18回)」告白する(2回)(新改訳)、聖歌隊 3 回(新改訳)。(NAS): with hymns of thanksgiving (KJV): oth with thanksgivings (INT): hymns (改4) 感謝の歌

喜び＝◀ 8057. simchah (שמחה)93 回▶(N)喜び

12:31 (改4) 私はユダの長たちを城壁に上らせ、感謝の歌をささげる二つの大きな**賛美隊**として配置した。一組は城壁の上を右の方に、糞の門に向かって進んだ。

**賛美隊(聖歌隊)**＝トダ◀ 8426. todah (תודה) 32 回 ▶意味は「感謝する(18回)」告白する(2回)(新改訳)、聖歌隊 3 回(新改訳)。

NAS: great choirs, the first proceeding

KJV: great [companies of them that gave] thanks, [whereof one] went

INT: appointed two choirs great proceeding

12:36 次に、ゼカリヤの兄弟たちシェマヤ、アザルエル、ミラライ、ギラライ、マアイ、ネタンエル、ユダ、ハナニで、神の人ダビデの楽器を持って続いた。学者エズラが彼らの先頭に立った。

アモス 6:5 琴の音にのせて即興の歌を作り、ダビデに倣って自分たちの楽器を考え出す者。

12:38 (改 4)感謝の歌をささげるもう一組の賛美隊は、左の方に進んだ。私はそのうしろに従った。民の半分は城壁の上を進み、炉のやぐらの上を通って、幅広の城壁のところに進み、

賛美隊(聖歌隊)=Towdot トウドウト

=トダ ◀ 8426. todah (תודה) 32 回(N) ▶ 意味は「感謝(18 回)」告白(2 回)

(新改訳)、聖歌隊 3 回(新改訳)。

NAS: The second choir proceeded

KJV: And the other [company of them that gave] thanks went

INT: choir the second proceeded

12:40 (改 4)こうして、感謝の歌をささげる二つの賛美隊は神の宮で位置にいた。私も、私とともにいた代表者たちの半分もそうした。

賛美隊(聖歌隊)=Towdot トウドウト

=トダ ◀ 8426. todah (תודה) 32 回(N) ▶ 意味は「感謝(18 回)」告白(2 回)

(新改訳)、聖歌隊 3 回(新改訳)。

NAS: Then the two choirs took their stand

KJV: the two [companies of them that gave] thanks in the house

INT: took the two choirs the house of God

12:46 昔から、ダビデとアサフの時代から、歌い手たちのかしらたちがいて、神への賛美と感謝の歌がささげられた。

賛美=賛美の歌=「◀ 8416. tehillah (תְּהִלָּה)57回(N)▶ 賛美」 + 「歌(N)=◀ 7892. shiyr ▶歌(N)」

感謝==hodowt=ヤダ◀ 3034. yadah(יָדָה) 114回▶ 感謝する 67回、賛美する 19回、告白 16回

(NAS) (KJV): give thanks

歌うたいたち(N)hamshorerim =歌う=◀ 7891. shir (שִׁיר) 87回▶ 歌う (動詞からの派生語)

賛美と感謝=テヒラとホードゥ(ヤダ)

13:2 それは、かつて彼らが、パンと水をもってイスラエル人を迎えることをせず、かえってバラムを雇ってイスラエル人を呪わせようとしたからであった。私たちの神はその呪いを祝福に変えられた。

呪わせ=◀ 7043. qalal ▶

呪い (名詞) =◀ 7045. qelalah ▶

祝福 (名詞) =バラカ(名詞) ◀ 1293.( בְּרָכָה) berakah 69回▶ 祝福。(google) では「あいさつ

13:7 エルサレムに帰って来たからである。そのとき私は、エルヤシブがトビヤのために行った悪、すなわち、神の宮の庭にある一つの部屋を彼にあてがったことに気づいた。

@サタンと妥協